

# 各地で活躍する卒業生たち

## 新春特集

# 後継者養成し計290人が修了

東京都商店街振興組合連合会が2002年に始めた後継者養成研修事業「商店街大学」が、20周年を迎えました。フィールドワークや意見交換を重ね、約290人が修了しています。

そこで11月25日の第20期閉講式に合わせ、5地域から8人の卒業生に集まってもらい、「コロナ禍を経験し、何が変わった?」「これからの商店街運営、どうしていきたい?」など語り合う場を設けました。

若手リーダーたちは人材育成や担い手不足の問題について、それぞれ何に悩み、どう行動しているのか。率直に語ってもらいました。

《これまでにフィールドワークを実施した地域》

期	年度	地域名
1	2002	●下北沢(世田谷区) ●神楽坂(新宿区)
2	2003	●大山(板橋区) ●向島橋(墨田区) ●東京合羽橋(台東区)
3	2004	●門前仲町(江東区) ●荏原町(品川区) ●千歳鳥山(世田谷区)
4	2005	●新井薬師(中野区) ●町屋(荒川区) ●代官山(渋谷区)
5	2006	●三軒茶屋(世田谷区) ●立川(立川市) ●砂町(江東区)
6	2007	●戸越(品川区) ●十条(北区) ●板橋宿(板橋区)
7	2008	●大森(大田区) ●麻布十番(港区) ●尾山台(世田谷区)
8	2009	●武蔵小山(品川区) ●大山(板橋区) ●荒川仲町(荒川区)
9	2010	●鍋横(中野区) ●赤羽(北区) ●元町(横浜市)
10	2011	●巣鴨(豊島区) ●向島橋(墨田区) ●下北沢(世田谷区)
11	2012	●中板橋(板橋区) ●吉祥寺(武蔵野市) ●青物横丁(品川区)
12	2013	●染井(豊島区) ●阿佐ヶ谷(杉並区) ●人形町(中央区)
13	2014	●三ノ輪(荒川区) ●自由が丘(目黒区) ●笹塚(渋谷区)
14	2015	●下高井戸(世田谷区) ●築地場外市場(中央区) ●おぐさぎ(荒川区)
15	2016	●向島橋(墨田区) ●十条(北区) ●三軒茶屋(世田谷区)
16	2017	●大山(板橋区) ●高円寺(杉並区) ●巣鴨(豊島区)
17	2018	●祖師谷(世田谷区) ●野方(中野区)
18	2019	●下高井戸(世田谷区) ●森下(江東区)
19	2021	●用賀(世田谷区) ●堀切(葛飾区)
20	2022	●向島橋(墨田区) ●下北沢(世田谷区)

※2020年度はコロナ禍で中止



2007年7月 第6期の閉講式の様子

商店街大学を受講したときは事業担当理事で、今は副理事長と青年部副部長を務めています。

「コロナの3年を振り返ると、イベントのやり方は変わってきましたね。例えば、ガラポンは密になるので応募用紙を各店に投函してもらい、当選発表はYouTubeで生配信といった方法です。客側も非接触型イベントに慣れてきました。」

祖師谷は生活者の街です。私は生花店を営んでいるのですが、ステイホーム中は特に「自宅に花を飾りたい」という人が増え、かえって売れました。人通りも減ることはなかった印象です。



15期生 宗田 薫さん

◇祖師谷商店街振興組合(世田谷区)＝小田急線の祖師ヶ谷大蔵駅すぐ。円谷プロがあった縁で祖師谷昇進会、祖師谷南との3組合で「ウルトラマン商店街」と総称



18期生 秋田 真吾さん

ただ組織運営について、これから、もっと若手活動してこれなかったりも残念な気がします。せつ、思っています。

「私たちが、長くやってきたのに、コロナ禍で宙ぶらりんになってしまいました。これだけ、思い込んでしまいがちじゃないですか。」

祖師谷の住民は、もちろん高齢の方も居ますが、ずいぶん若い世代が多くなってきています。となると、夏の売出しも「どうしようか」という人が出てくると思います。

「1年1回にして大きくやる形もあるかも」など、イベントのあり方だっって見直すべきかもしれませんよ。

10年後を想像してみたとき、商店街側も変化していかないと、誰も運営に関わらなくなってしまふ。若い世代から「次の人」をどんどん見つけながら、活動を活性化させたいです。

ネット販売するとか、策はあったはずですが、アイデアは出て、実行するには人材がなく、理事会で決められません。いまだに、くやしいうことです。

理事は今11人いて、40・50代中心には70代までと若返ってきています。青年部も20人ほど。私が常に「若い人を誘おう」と言っています。かなり若手は増えました。

かといって、年配の人に相談役やアドバイザーとして居てほしい気持ちもあるんです。私のスタッフに必要なたったあるかもしれない。うまく世代交代を進めていきたいです。

# これからの運営や人材は？



10期生 長井 琢英さん

私は立川市商店街連合会副理事長を務めています。単会としては立川南口という通り商店街振興組合の理事長でもあります。

立川はJR立川駅を中心に、北は大型店中心ながら農地もあり、南は飲食を中心とした中小店の多いエリア。周囲には住宅街も広がっています。コロナ禍ではイベントもできず苦しみました。給付金を活用したり、飲食店はテイクアウトや配達をしたりして乗り切りましたが、まだまだ街にお客さんが滞りに戻ってきたとは言えません。

そんな中で目指すのは、街に出て来て回遊してもらうための仕掛けづくりです。

例えば立川市との企画で、春の買い回りシーズンに合わせ、子育て応援デジタルスタンプラリーを行いました。こういう非接触型イベントを単会でもやれると思いますね。南口の連合会では、各商店

街をモンスターに見立てたカードゲームを作り、子供たちが遊びに来てもらう取り組みも始めています。

人材育成に関しては正直、何もやってこれなかったなという気持ちがあります。上の世代は私たちに任せてスッと引退し、好きにやらせてきてくれたのに、青年部を見ればメンバーの平均年齢が毎年一つずつ上がるか人数が減るか、という状況です。

でも、若い人が居ないわけではあります。むしろ立川は元気な人が多い。特に飲食店の人たちのつながりは強く、独自にいろんな企画を立て、商店街のほうにそれに乗っかってもらうようなこともあります。

お仕着せの運営ではダメ。若い世代に商店街組織の中にまで入ってもらえるか、今後の課題だと思います。若い人と手を組んでいけるように私も頑張りたいです。

◇立川市商店街連合会＝市内24商店街の連合組織。商店街大学へ継続的に受講生を送り出すと共に、卒業生や商運役員らで構成する「たちかわ商店街研究会」をつくり、地産地消などの事業を生み出している

地域に就業と雇用の機会を創出する

SDGsに貢献する

人とのつながりを大切にする

地域に密着した情報交流の場となる

地域の生活環境の整備に貢献する

